

# 大分市歴史資料館

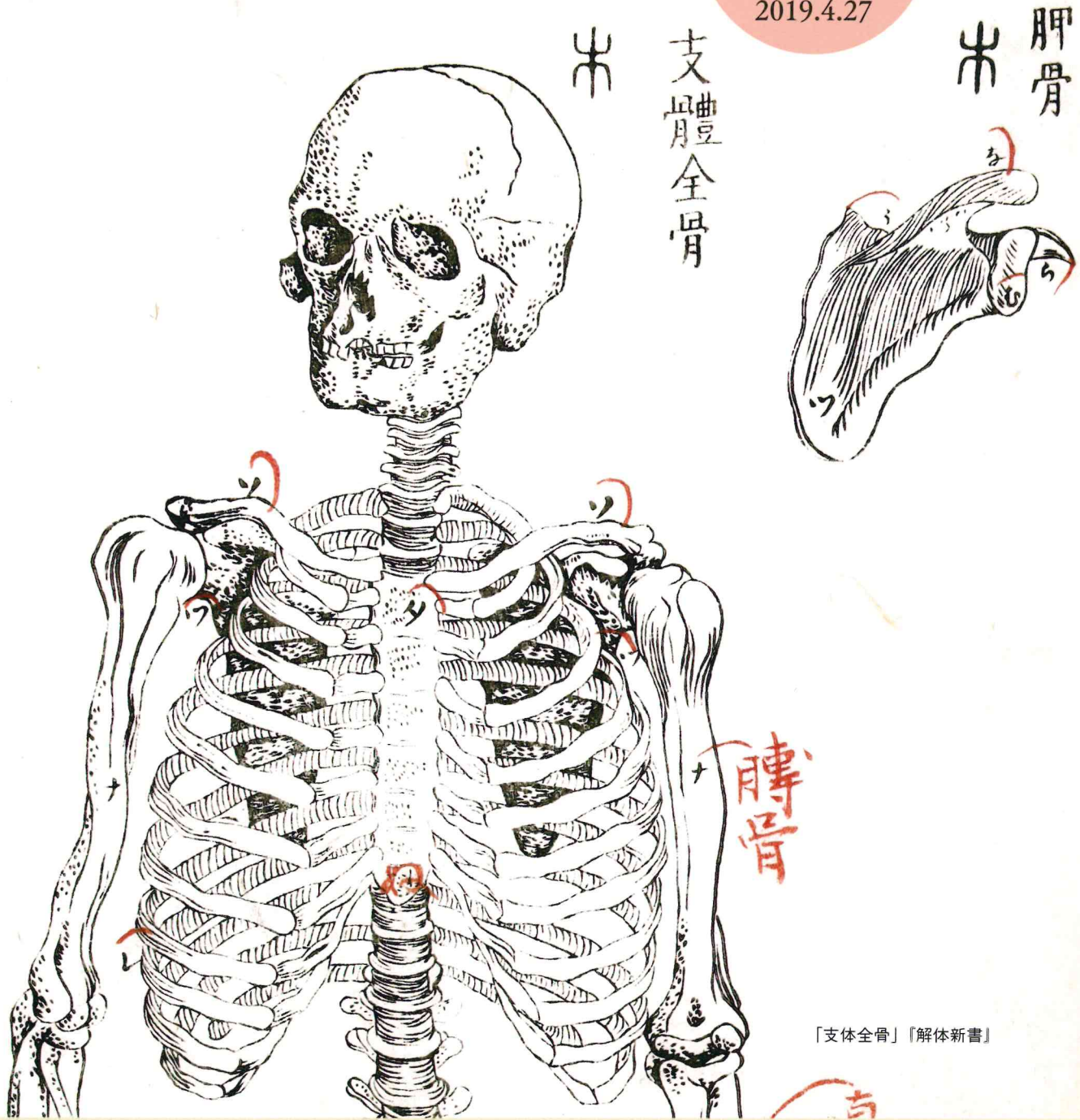
OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

## ニュース

vol.

121

2019.4.27



「支體全骨」「解体新書」

2019年度テーマ展示 I

# 解体新書の世界

会期 / 4月27日 土 ~ 6月9日 日

大分市  
歴史資料館



## テーマ展示 I

# 解体新書の世界

会期 / 4月27日 土 ~ 6月9日 日

『解体新書』は、オランダ語の西洋医学書を江戸時代に翻訳したもので、郷土大分の先人・中津藩医の前野良沢や小浜藩(現在の福井県小浜市)の藩医を務めた杉田玄白らによって安永3年(1774)に出版されました。

これを契機に西洋の学術研究が一段と進み、日本の本草学や農学などの江戸の実学(実用性を重視する学問)にも大きな影響を与えました。

本テーマ展では、『解体新書』がもたらした、日本諸科学の発展の歴史を様々な資料から紹介します。

## I. 解体新書

当館が所蔵する『解体新書』は本文4冊、付図1冊からなる初版本で、漢文で書かれています。

オランダ語の解剖書『ターヘル・アナトミア』を蘭和辞書の無い時代に翻訳し、3年半もの時間を費やして完成したものです。

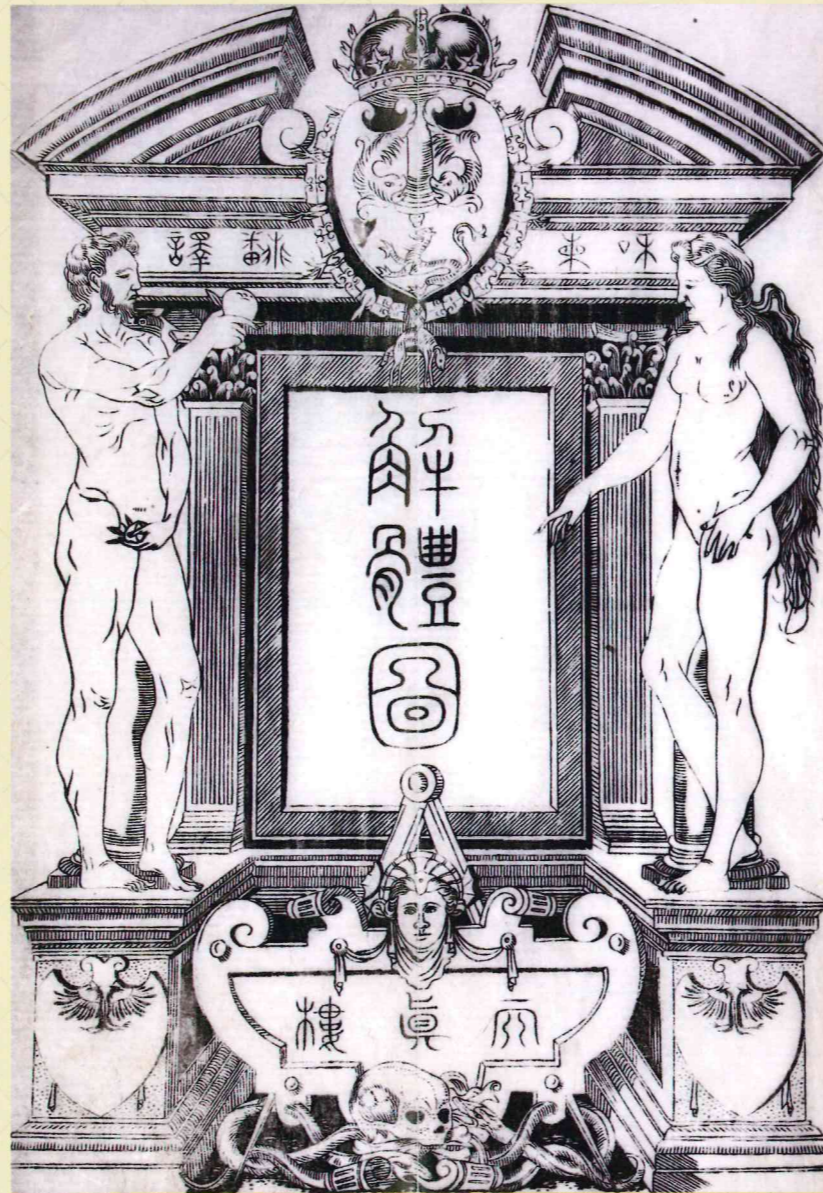
現在も使われてる「神経」や「軟骨」、「頭蓋骨」などの単語は、この時に生み出された日本語です。



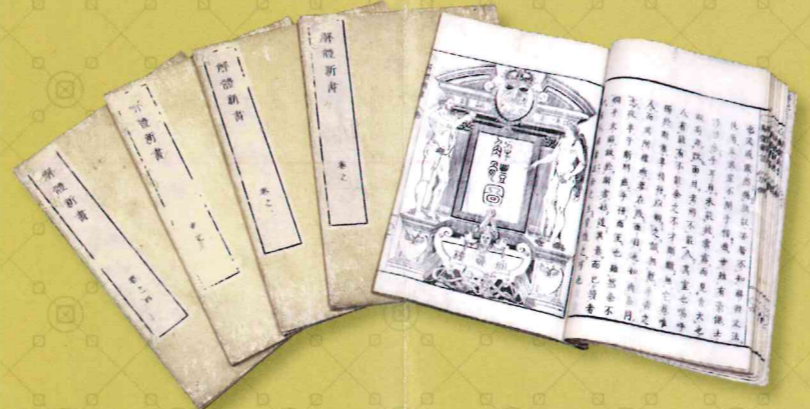
重要文化財「杉田玄白肖像」  
早稲田大学図書館所蔵



前野良沢画像 個人蔵



「扉絵」『解体新書』



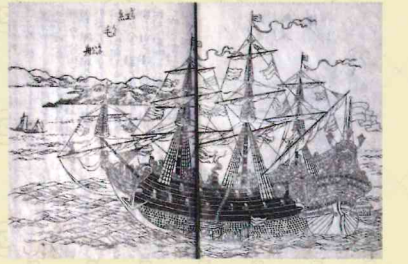
「解体新書」  
大分市歴史資料館 所蔵

## II. 蘭学の興隆

蘭学とは、オランダ語で伝わった西洋の学術を研究する学問です。

8代将軍・徳川吉宗は、国内の殖産興業を進めるため、西洋の学術書の一部輸入を認め、海外の知識を広く取り入れました。

これにより、長崎の出島や江戸には海外の書物などが集まるようになり、これらの地を中心に、蘭学が広まってきました。



「紅毛船」『日本山海名産図会』



「出島紅毛屋敷・紅毛船入津」(同上)

## III. 江戸の実学

日本の実学は、蘭学や中国の本草学などの影響を受けながら、測量術や農学などの分野において江戸時代に独自の発展をとげました。

大分市下宗方区所有の「嘉永井路絵図」からは、西洋の測量術を取り入れた勾配測量を用いて、井路(水路)の工事が行われていたことがわかります。

こうした実学の発展は、幕末から明治時代にかけての日本の近代化を支えました。



「嘉永井路絵図」(大分市下宗方区・大分市歴史資料館 寄託)

## IV. 近代医学のあけぼの

日本の医学に、西洋医学を取り入れようとした明治政府は、当初イギリスの医学を手本としましたが、蘭方医たちの意見によりドイツ医学を規範とするようになりました。

日本人初の解剖書である『解剖攬要』は、明治14年(1881)に東京大学教授の田口和美によって、出版されました。

彼はドイツ医学の権威で、北里柴三郎などを育てたことでも知られています。



「解剖攬要」



## 新収蔵品紹介

NEW  
COLLECTION

新たに収集した「源氏物語絵」を公開します。

会期 2019年4月27日(土)～6月9日(日)

平成30年度に2枚の「源氏物語絵」を収集しました。これらは、『源氏物語』全54帖の各帖から、一場面ずつを選び描かれた屏風絵の一部に当たるものです。同じ屏風を構成した場面絵を23枚当館が収蔵しており、今回の収集で25場面の絵がそろいました。

この機会に、雅やかな『源氏物語』の世界に調和した安土・桃山時代の彩色画をご覧ください。

### 1 巻10「賢木」

源氏との仲を諦めて、伊勢に向かうことを決意した六条御息所を源氏が訪ねる物語の名場面です。

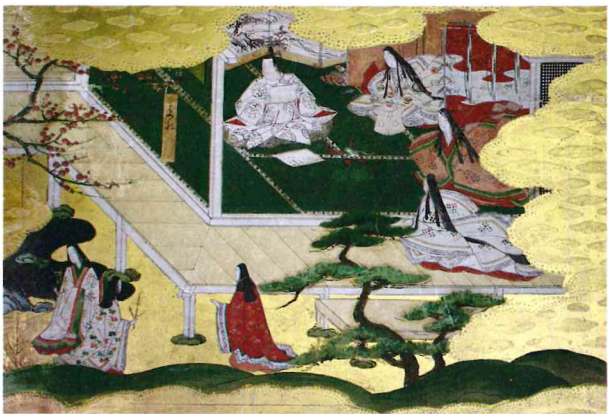
櫛の枝を御簾越しに差し入れて、歌を詠み交わす二人の姿が描かれています。

### 2 巻23「初音」

正月に源氏が明石の姫君を訪れる物語の有名な場面です。姫君に会えぬ実母の明石君を憐れみ、思いを認める源氏や、庭先で小松を引き抜いて長寿を願う少女たちの姿が描かれています。



1 源氏物語絵「賢木」



2 源氏物語絵「初音」

## インフォメーション

INFORMATION

### テーマ展示解説講座

内容／講座室でテーマ展示I「解体新書の世界」について、スライドなどで解説した後、展示会場を案内します。

日時／5月12日(日) 14時から

場所／大分市歴史資料館 講座室

参加費／無料 ※事前の申し込みは必要ありません。

### 昔のおもちゃで遊ぼう

内容／歴史資料館の広い史跡公園で、竹馬・竹トンボ・竹弓矢・コマなどの昔のおもちゃで遊びます。

日時／5月5日(日)【こどもの日】

9時30分～16時(15時受付終了)

参加費／無料 ※事前の申し込みは必要ありません。



### ふれあい歴史体験講座

定員／各回50～70名程度(先着順)

時間／午前の部 9時30分～(約2時間)

午後の部 14時00分～(約2時間)

	実施日	内容	材料費	受付開始日
第2回	5月18日(土)	土偶作り	180円	5月3日(金)
第3回	6月1日(土)	土笛作り	70円	5月17日(金)
第4回	6月15日(土)	粘土はにわ作り	250円	6月3日(月)
第5回	7月6日(土)	七夕飾り作り	100円	6月18日(火)

応募／上記の受付開始日より、電話にて応募ください。

★上記の各講座等の参加者は観覧料が無料になります。



発行 大分市歴史資料館 〒870-0864 大分市大字国分960-1

TEL:097-549-0880 FAX:097-549-5766



【開館時間】入館は16:30まで  
9:00～17:00

【休館日】※ただし祝日の場合は開館  
月曜日(第1月曜を除く)、第1火曜日

※ただし土日の場合は開館  
祝日の翌日

【年末年始の休館日】  
12/28～1/4

【観覧料】※団体は20名以上  
大人200円(団体150円) 高校生100円(団体50円) 中学生以下無料

※身体障害者手帳・療養手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者は無料。◎入館時に受付で手帳を提示してください。